



移住者名	吉田 武司
都道府県	愛知県 日間賀島
移住先	名古屋市⇒南知多町
移住年	2015年
職業	柔道整復師
家族構成	本人1人
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

子どものときから南知多町の海や新鮮な魚介類が好きで、親と一緒に日間賀島や篠島に遊びに来ていたこともあり、まったく縁がないわけではありませんでした。移住前は名古屋市で柔道整復師として働いており、いずれは独立して自分で開業したいと考えていました。自分の好きなところで開業したいと思い、南知多町で物件を探すことにしました。そのときに南知多町空き家バンクホームページで日間賀島の物件を見つけました。実際に現地を見学してみて、自分の思い描いていた接骨院が開業できると思い、移住することを決断しました。日間賀島の方たちに暖かく受け入れてもらい、とても過ごしやすく本業の接骨院も順調です。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

移住の際は日間賀島での暮らしにいいイメージしかなく、楽しみしかありませんでした。以前に鹿児島県の屋久島や海外の離島という本土から大きく離れた場所に住んでいたことがありました。そのときのことを考えると日間賀島は本土まで高速船で約10分の距離にあるため、不便に思うことはありません。月に1・2回、本土へ買い出しに行きますが、それ以外は日間賀島の中でまかなえます。日間賀島は住民も観光客も満足できる新鮮な魚介類を提供する繁盛店が多いので、接骨院が休みの日は飲食店巡りをしたり、大好きな釣りをしたりと島暮らしを満喫しています。

Q. 移住して良かったことは？



島の人々がみんな家族のような付き合いをしていると感じました。接骨院を開業して約2年が過ぎましたが、今では日間賀島の皆さんから「先生」と親しみを持って呼んでもらえます。接骨院に来ていただいた患者さんから日間賀島でとれた魚介類などの差し入れをいただくこともあり、都会で感じることの少なかった人の温かさを感じました。季節ごとにおいしい新鮮な海の幸に巡り合えることも移住して良かったと思えることの一つです。

Q. 移住を考えている方へメッセージ

あまり偉そうなことを言える立場ではありませんが、移住はよそ者がその地域に入っていくため、今できている地域の調和を乱さず、どれだけうまく馴染んでいけるかが重要になると思います。区の会合やゴミ当番、草刈、お祭りなど、島の行事にできる限り積極的に参加し、島の一員として認められるよう島に溶け込む絶え間ない努力も必要だと思います。

生活環境が変わるので、大変なこともあると思いますが、楽しいことも多くあります。

移住を考えている方が実際に移住し、移住してよかったと思える日が来るといいですね。